

6月30日 第10回「静岡市社会の大きな力と知を活かした根拠と共感に基づく市政変革研究会」の開催

【市長の出席 有】

【趣旨・背景】

- ・静岡市は、「社会の大きな力」と「世界の大きな知」を活用し、社会課題の解決や新たな価値の創造につなげる共創の仕組みづくりを進めています。本研究会は、2023年5月に発足し、若手・中堅職員が主体となって政策立案に向けた研究を進めてきました。
- ・2026年度は、新たに「次世代行政サービス(庁舎における窓口業務・市民利用・職員の執務環境等の効率性・利便性等の向上を図る取組)」をテーマに加えた8つの分科会により、委員からの専門的な助言をいただきながら、政策形成を進めています。
- ・今回の研究会では、2026年度の取組内容や今後の方向性について発表し、委員から助言を受けながら議論を深めます。
- ・また、「市政変革ディスカッション」では、「稼ぐ都市への転換」「市民が幸せを感じられる都市像」の2つのテーマで、委員と市長が討論を行い、「新たな気づき」につながる問題の提起や、多角的な視点からの意見交換がなされることで、本市の次なる政策立案と、今後の分科会が取り組むべき研究内容の検討に繋がります。

【日時・会場】

2026年6月30日(火曜日) 9時30分～12時

静岡市役所静岡庁舎 新館8階 市長公室 (オンライン併用)

【出席者】

市政変革研究会委員(別紙のとおり)、

難波市長、大石副市長、吉田副市長、局長級職員(一部オンライン参加)、各分科会職員

【当日の進行】

市長および会長挨拶、進行に関する事務局の説明、各分科会の報告と委員によるコメント、市政変革ディスカッション、市長コメント

【その他】

- ・報道機関は入室・傍聴可能です。取材いただける場合は、当日、会場へお越しください。
- ・資料および議事録は、後日、市公式ウェブサイトで公開します。

<https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2934/s007375.html>**【問い合わせ先】**

総合政策局 総合政策課(静岡庁舎12階)、担当者:清水、宮内、香西、電話:054-221-1020

【別紙資料等】

有(委員名簿)

静岡市社会の大きな力と知を活かした根拠と共感に基づく市政変革研究会 委員名簿

2026年4月1日現在（五十音順、敬称略）

氏名	所属・役職	主たる専門分野
あおき しげき 青木 成樹	日本エヌ・ユー・エス株式会社 技術顧問 一般財団法人マリンオープンイノベーション機構 特任研究員	地域産業分析
あさひな いちろう 朝比奈 一郎	青山社中株式会社 筆頭代表 CEO 福井県立大学 客員教授 ビジネス・ブレークスルー大学大学院 客員教授	行政改革・公務員制度改革、 地域活性化、 リーダーシップ・人材育成
あしかわ としひろ 芦川 敏洋	公益社団法人静岡県病院協会 専任アドバイザー 静岡県立大学 非常勤講師兼客員共同研究員	公共経済学、地域経済分析
いけだ けいこ 池田 恵子	静岡大学グローバル共創科学部 教授 減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表	男女共同参画、地域防災
うちだ はるひさ 内田 晴久	東海大学教養学部人間環境学科 教授	材料科学、エネルギー、 創造性教育
くろいし まさあき 黒石 匡昭	PA パートナース株式会社 代表取締役 公認会計士	行財政改革、公共調達
さかい さとし 酒井 敏	静岡県立大学グローバル地域センター 特任教授 副学長	地球流体力学
しんじょう あつし 神 成 淳司	慶応義塾大学環境情報学部 教授 内閣官房イノベーション戦略調整官	情報政策、データガバナンス、 アグリテック、フードサイエンス
たかお まきこ 高尾 真紀子	法政大学大学院地域創造インスティテュート 教授	福祉、ウェルビーイング
はしもと まさひろ ◎橋本 正洋	東京科学大学 名誉教授 一般財団法人マリンオープンイノベーション機構 理事・統括プロデューサー	イノベーション学
みずたに よういち 水谷 洋一	静岡大学グローバル共創科学部 教授 地域創造学環長、地域創造教育センター長	環境経済学・環境政策
もりかわ たかゆき 森川 高行	名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ社会研究所 名誉教授・特任教授	次世代交通システム
やまぎし ゆうき 山岸 祐己	静岡理工科大学情報学部 准教授 株式会社良品計画 客員研究員 浜松医科大学医学部 訪問共同研究員	AI、DX、統計学

※◎は会長

以上 13 名